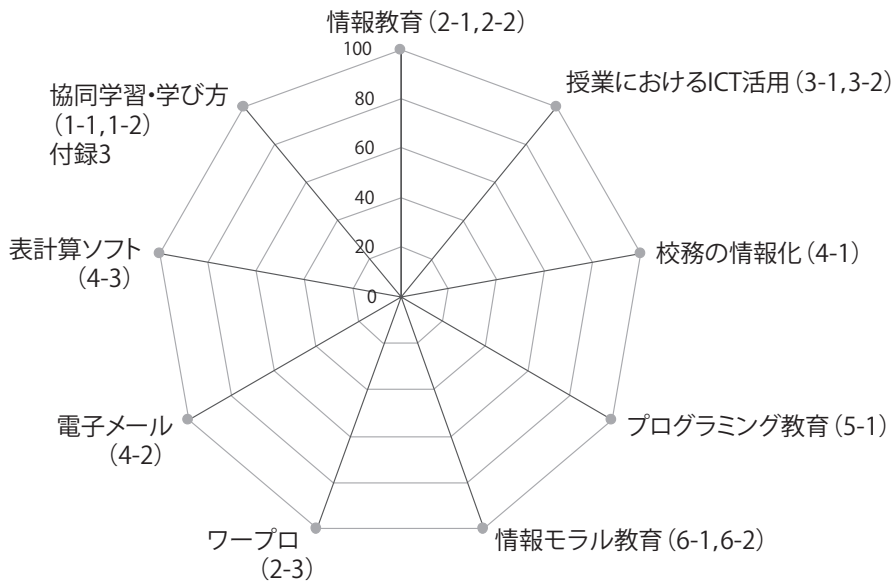


**1**    7-1「振り返る 1」（p124）の例に倣い、個人でこれまで学んできたことを振り返ってみましょう。

それぞれの項目に対して、学習目標をどの程度達成できたか○印をつけよう。また、事前の状態を△印でつけて、変化をみよう。



現在の状況：本書を通して、まだできないこと・改善が必要なことを具体的に 3 つ以上あげよう

**2**    将来、教員や教育支援専門職などに就いたとき、「ICT 活用指導力」や「情報活用能力」や「主体的・対話的で深い学び」を实践できるように、これからの学生生活で実践する取り組みを 3 つ以上あげよう。

①達成目標： ( ) 年頃の自分の (理想の) 姿	<div></div>	未来
②大学生活で行 う取り組み： 上記を達成する ために、いつ、 何を行うのか (明日からでき ることも含めて 具体的に)	<div></div>	現在

**3**    完成した行動計画について、下のルーブリックにしたがって評価をしましょう。

[個人の行動計画のルーブリック]

評価基準 評価規準	A：十分満足	B：おおむね満足	C：努力を要する
整合性のとれた行動計画となっているか	大学生活における取り組みが 3 つ以上あげられている。かつ、「改善すべき（達成できなかった）こと」が「大学生活における取り組み」によって、「理想の姿」を実現することができるような整合性のある行動計画になっている。	大学生活における取り組みが 3 つ以上あげられている。かつ、「現状の課題」や「理想の姿」との関連がある行動計画になっている。	大学生活における取り組みが 2 つ以下である。もしくは、「大学生活における取り組み」と「現在の状況」や「理想の姿」の関連があまりない。
行動計画は具体的であり、実現的である	行動計画は具体的であり、大学生として適正であり、かつ、全て実現できそうである。さらに「なるほど」とか「自分はこう思う」など聞き手の考えを喚起する計画であった。	行動計画は具体的であり、大学生として適正であり、かつすべて実現できそうである	行動計画は大学生として適正ではない。もしくは、具体性がない。もしくは、実現できそうにない。